



つ ま ま 都 万 麻

令和6年1月18日
学校だより第310号
高岡市立太田小学校

※ 本校ホームページは、平日、更新中です。

「助け合いの大切さ」

校長 かきの 柿 埜 てつお 哲男

元旦に起きた「令和6年能登半島地震」により、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。現在も予断を許さない状況が続いていますが、在校生とそのご家族の皆様は安全を最優先としていただきますよう、お願いいたします。

3学期の始業式は、体育館の校歌の額の落下やパネルの剥がれ等があり、2階多目的ルームで行いました。全校児童64名全員が式に参加することができ、ひとまず安心しました。式では、全員で犠牲者の方へ黙とうを捧げました。子供たちには、寒い中、避難をされている方や救助をしている方がたくさんいることについて話し、気持ちを落ち着かせて行動してほしいと伝えました。また、災害が起こったときには、自分の命は自分で守ること、そして、互いに助け合うことの重要性を確認しました。



3学期の始業式の様子

今回の地震から、「助け合いの大切さ」を実感しました。太田小学校の避難所開設の際に保護者や地域の皆様には、素早い対応で避難者を誘導していただいたり、避難物資を運搬していただいたりと、準備に奔走していただきました。高齢者をおぶって運ばれたり、お互いに温かい言葉を掛け合ったりする姿をたくさん見ました。児童玄関前に給水所が設置されたときには、東北の水道局からも応援に駆けつけてくださり24時間体制で給水作業をしていただきました。まさに、日本が誇れる助け合いの精神や人の温かさを肌で感じる事ができ、本当に勇気づけられました。

太田小学校では、11月に津波を想定した防災訓練を行ったばかりでしたが、課題も見つかりました。大津波警報が出て、津波の第一波が3分後に到達したことで、避難開始のタイミングが明暗を分けることが分かりました。もし、今回の地震が授業中に起こっていたら、児童を桜谷古墳に向かわせるか、学校の屋上に上がらせるかの判断に迫られていたと思います。今後は、様々な状況を想定した訓練を実施し、子供たちが自分で考えて行動できる力を付けていきたいです。命を守るためには、地震が発生してから8秒以内に行動することがポイントだそうです。揺れている間、勇気を出し、希望をもって身を守る努力をするように子供たちには伝えていきたいです。

子供たちは余震が続く中、不安な気持ちでいっぱいだと思います。様子をよく見て、温かい心で包んであげてください。太田小学校では全教職員で児童の心のケアに努めてまいります。今年も教職員一同、教育活動の充実に努めてまいります。引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

いきいき太田っ子 スマイル日記

やさしく かしく たくましく

5・6年 薬物乱用防止教室
【12月11日】



マジックショー
【12月13日】



郷土劇（郷土誌発行委員会）
【12月13日】



太田っ子ロングタイム
音楽集会
【12月13日】



3年「火事からくらしを守る」
【12月19日】



離任式
【12月21日】



4・5・6年 伝統芸能文化鑑賞教室
【12月15日】

高岡市文化芸能館に「能楽」の鑑賞と体験に行ってきました。



書初大会
【1月9日】

1・2年生は硬筆、3～6年生は毛筆で、課題の文字を気持ちを込めて、丁寧に書きました。

